

ウィンブルドン行列便利メモ & 地図

地図

- ① Southfields サウスフィールズ駅、District Line ディストリクト線
- ② Wimbledon Park ウィンブルドンパーク
行列はテントが並んでいるのですぐに分かる。最後尾には Q の旗。時間帯によってひとつの行列、翌日の行列整理中、当日と翌日のふたつの行列があるので注意！
- ③ ウィンブルドン会場
- ④ The Gym Southfields シャワー

<https://www.thegymgroup.com/find-a-gym/southfields/>

1 カ月入会は英国に銀行口座が必要だが、1 日パス、3 日パスをクレジットカードで購入できる。スマホのメールアドレスの他にダミーの英国住所と電話番号が必要。初回はスタッフのいる夜 10 時までに行き、スタッフを呼び出してウィンブルドン期間中の promotional code(割引コード)で登録してもらおう。通常 7.99 ポンド/日が 5 ポンドになる。8 桁の PIN コードで入室。24 時間営業。ロッカーの鍵は南京錠持参。なければ自動販売機で 5 ポンド。体力の有り余っている人は筋トレもできる。2 回目以降は、メールの案内に従ってスマホで再申請し、同じ PIN コードが使える。Promotional code は再入力必要なのでカードをもらっておく。

- ⑤ McCluskey's Food and Wine 07:00~20:00
コンビニ。食料、アルコールなどと充電サービス。充電料金は決まっておらず 1 ポンド程度の寄付。USB コードを付けて依頼する。AC 電源を必要とするものは、イギリス式のプラグ (BF タイプ) を付けて渡す。引き取りは営業時間内であればいつでも良い。モバイルバッテリーは充電に半日以上かかるものが多いが、交互に預けられるよう 2 個あると良い。

会場内でもチャージ済みのモバイルバッテリーを貸してもらえるようになった：

チケット売り場正面のキオスクで 15 ポンドデポジットプラス 5 ポンドの費用で、モバイルバッテリー貸し出し、午後 8 時までに返却必要。

- ⑥ Starbucks 5:30~20:30 (日曜日 6:30~)
Wifi 有り。USB コード用コンセント、イギリス式プラグ (BF タイプ) の AC 電源の使える席がある。⑤のように預けて充電してもらうことはできない。
- ⑦ Durnsford Cleaner, 389A Durnsford Rd 8:00~19:30 (日曜日 9:00~19:00)
コインランドリーと洗濯サービス。5 kg 程度を洗濯・乾燥・畳んでもらって 15 ポンド。3-4 時間後に取りに行く。

食事

サンドイッチ、サラダなどの軽食の持ち帰りは、コンビニ MaCluskey、サウスフィールズ駅近辺のスーパーや Starbucks など。レストランはサウスフィールズ近辺と公園東側のダーンズフォード通り。サウスフィールズは行列客だけでなく観戦帰りの客も多く、非常に込み合っている。ダーンズフォード通りのレストランやパブは空いていてお勧め。但し、公園東側出入り口は夜 10 時ごろ閉められるので注意。

パブ

空いた席を確保してから、カウンターで食事と飲み物を注文して支払う。カウンターでは行列はしないが、他の人がいる場合は自分の前にいた人を覚えておき、「お次は？」で自分の順番が来てから注文するのが英国流。外の人間には分からない京都のバス停のような順番待ちだが、行列の精神が生きている。

- ⑧ The Pig & Whistle 日曜日定番のローストビーフ(Sunday Roast)が美味。お勧め！
- ⑨ The Old Fields 大型スクリーンではウィンブルドン中継放送。

各国料理

- ⑩ Thai Girder タイ料理。美味しくて人気。なかなか席が取れない。早めに行くといい。
- ⑪ Olive Garden イタリア料理。選手やコーチなどをよく見かける。
- ⑫ Triphal Indian Restaurant インド料理。街外れで落ち着いた雰囲気。
- ⑬ The Jaipur インド料理。美味しくて価格もリーズナブル。
- ⑭ The Kindness 中華持ち帰り。北京ダックなど。日本食もあるがお勧めできない。

携帯用 SIM

SIM フリースマホを使い、現地のプリペイド SIM がお勧め。ヒースロー空港各ターミナル出口にある SIMLocal でも買えるが、同じものを日本の Amazon で売っている。Three の 1 カ月 12GB 2,480 円 (2018 年現在) がお勧め。アマゾンで Three SIM 12GB で検索。

日本語の説明書が付いているが、書かれた設定方法は古い機種の場合と思われる。最新の iPhone、Android では設定不要で、①電源を切って SIM を入れ替え、②電源を入れると「準備中」のショートメール、③暫くすると「電源をオフに」とショートメール、④電源を切って入れなおす。これで通話とネットが使えるようになる。日本で使っている設定のまま、Profile を消す必要もない(iPhone)。Wifi のないところでもアクティベーションができると思われるが未確認。イギリスのみで使うのであればローミングはオフ、他の国で使う場合はオン。通話はイギリス、欧州、他(日本なし)。何より安くてデータ量が多いのが魅力。行列仲間との連絡(通話・ショートメール)もイギリスの番号がないと難しい。公園外に出るときは、お隣さんに Q カードチェックなどが予告された場合に連絡を頼んでおくことが重要。

スマホ用アプリ

- The Championships, Wimbledon 20XX
開幕直前にリリースされる公式アプリ。ドロー、オーダー、ライブスコア、結果、ニュース、天気など必要情報が得られる。これがないと困る必須アプリ。
- ATP/WTA Live
Halle や London などの前哨戦の結果やライブスコアを見て、ウィンブルドンに向けて気分を高める。
- Weather & Radar
天気予報と雨雲レーダー。
- London Weather, UK Weather など適当に。
- Wimbledon Queue @ViewFromTheQ
ウィンブルドン行列の情報交換の Twitter。

空港往復のタクシー

電車で行く人も多いが、私は少し高くついても馴染みの運転手のミニキャブを使っている。ミニキャブはヒースロー出迎いで 55 ポンド、ヒースロー行で 48 ポンド (2018 年)。毎年値上げされているので相場より高いかも知れない。ミニキャブは通常税関通過後の出口で名前を書いたシートを持って出迎えてくれる。氏名、電話番号 (ショートメールで通信)、到着便名、到着日時、ターミナル、目的地を伝えて見積りを依頼する：

<http://www.wimbledon-minicabs.co.uk/>

book@wimbledon-minicabs.co.uk

空港で予約なしで乗るブラックキャブはミニキャブの 2 倍弱程度と思われるが、最近の事情は分からない。最近では Uber も多く、ミニキャブより少し安いとのこと。

ウィンブルドン B&B (Bed & Breakfast=朝食付きの民宿)

<http://www.wimbledonhomesb-b.co.uk/>

2 連泊以上の単位で予約。距離が近いなど条件の良い物件は半年前くらいに予約するのが望ましい。私も以前は B&B を予約してテント泊と B&B 泊を交互にしていたが、テントなどのキャンプ道具を持って B&B まで歩かなければならず、テントで連泊した方が肉体的にも楽と分かってからはテント泊のみとしている。シャワーと充電の問題が解決したのでテント連泊の問題はなくなった。

ホテル

以前ははテント泊の前後にホテルに泊まっていたが、今回は飛行場からウィンブルドンパークに直行直帰した。特に不自由はなかった。距離的に会場に近い Holiday Inn や Premier Inn を使っていた時期もあるが、タクシーでの移動が不可欠で、帰りのタクシー確保が大変

なので止めた。最近は地下鉄 1 本で行ける範囲で、West Brompton 駅から近い Hotel Lily にしていた：<http://www.hotellily.co.uk/>

すぐ隣には Hotel ibis London Earls Court Hotel：

<https://www.accorhotels.com/gb/hotel-5623-ibis-london-earls-court/index.shtml>

服装

年によって雨の多さや気温が大きく変わり、朝晩は 10°C を下回ることもある。重ね着ができるようにしておくことが望ましい。私の場合、トレッキング用のウィンドブレーカーが重宝している。寒がりの方では薄手のダウンが良かったとの話も聞いた。2018 年は好天で夜も寒くなかったが、2017 年では 10°C 対応の寝袋だけでは寒すぎたと言われる方もいた。夜も寒い時に重ね着できるようにしておいた方が良い。

テント泊必需品

テント・マット・寝袋は不可欠。夜 10°C 以下まで下がることがあった。全部で 1 万円以下の安価なもので十分。テントは原則 2 人用までのサイズ。古いテントを持参する場合は防水加工が必要。他に必需品は、雑巾、トイレットペーパー（時々紙切れ）、ウェットティッシュ、LED ライト（スマホで代用可）、スマホ用モバイルバッテリー（カメラ用なども含めてリチウムイオンバッテリーは機内持ち込みが必要で、容量は 1 個 160mWh 未満）。あると便利なのはコンパクトな折りたたみ椅子。バッグは制限サイズの 60cm x 45cm x 25cm に近いものが良いが、オーバーしても一時預けで受け入れてくれる。レジャーシートは新聞のおまけで買ったが、2018 年は Daily Mail の販売がなかったので持参するのが無難。

雨の多い、少ないは年によって異なるが、雨対策は必要。地面が泥でぬかるむので、靴は汚れてもよいもの、できれば防水処理したものが望ましい。